プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモトイが最高で650cells/ml、シャットネラ属が64cells/ml確認されました。 シャットネラ属は増加傾向で、漁業被害が想定される密度を超えている地点がありました。 また、湾奥部では30m層で貧酸素の傾向が確認されました。湾央部でも5m層で溶存酸素量が4.0mg/L以上認められたもの

の、今後、貧酸素状態となる可能性があります。

貧酸素の条件下で給餌や網換えなどを実施すると、養殖魚の酸素消費量が増大し、大量死を招くことがあります。今後、降 雨等で赤潮が再び発生する可能性が高いことから、慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導 所まで連絡してください。

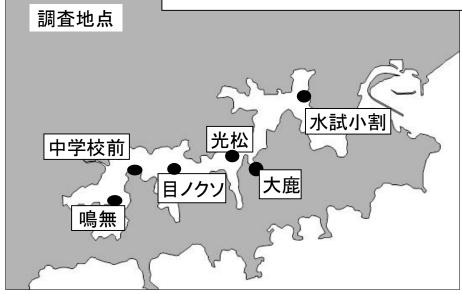
プランクトン(cells/ml)

712 (00116) 1111)			
調査地点	水深	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属
鳴無	1m	4	63
	2m	44	41
中学校前	1m	2	2
	2m	27	12
	5m	28	0
目ノクソ	1m	8	0
	2m	9	64
	5m	650	4
光松	1m	4	2
	2m	8	5
	5m	250	2
大鹿	1m	2	0
	2m	2	5
	5m	350	2
水試小割	1m	0	0
	2m	0	0
	5m	4	0

漁業被害が想定される細胞密度

・カレニア・ミキモトイ:数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)

・シャットネラ属:10~100cells/ml(魚類へい死) ケラチウム属:100cells/ml~(餌食いの悪化)



「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html